

平成 2 4 年度

事 業 報 告 書

(自) 平成 2 4 年 4 月 1 日

(至) 平成 2 5 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成24年度事業概要	1
I. 法人運営部門	
1 役員会開催状況	2
2 評議員会開催状況	2
3 監査状況	2
4 苦情の受付及び解決状況	3
II. 地域福祉活動推進部門	
1 民生委員・児童委員活動支援事業	3
2 地域福祉活動計画策定事業	3
3 ボランティアセンター事業	3
4 小地域ネットワーク活動	8
5 福祉教育・啓発活動	21
6 地域子育て支援センター事業	23
7 各種福祉団体支援事業	26
8 共同募金配分金事業	27
III. 福祉サービス利用支援部門	
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	29
2 生活福祉資金貸付事業	30
3 福祉資金（小口）貸付事業	30
4 住民の福祉活動の推進・支援	30
5 祭壇貸付事業〈特別会計〉	32
6 福祉サービス第三者評価事業〈特別会計〉	32
7 総合相談事業	33
8 健康・生きがい促進運営事業	33
9 三瀬地域巡回バス運営事業	33
10 放課後児童クラブ事業	33
11 老人福祉センター等運営事業	34
12 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	36
13 松梅児童館運営事業	37
14 佐賀市産業振興会館管理事業	37
15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	37
16 佐賀市久保田総合センター管理事業	38
IV. 在宅福祉サービス部門	
1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	38
2 居宅介護支援事業	38
3 訪問介護事業	39
4 通所介護事業	39
5 富士地区コミュニティバス実験運行（富士地区高齢者憩いの家事業）	39
6 佐賀市生活サポート事業	40
7 身体障がい者居宅介護支援事業	40
8 外出支援事業	40
9 その他の事業	40
V. その他の事業	
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	41
2 日本赤十字社事業の推進	42

平成24年度事業概要

平成24年度も佐賀市社会福祉協議会では、急速に進行する少子高齢化・核家族化による家族機能の低下や地域の相互扶助機能の弱体化、地域連帯意識の希薄化などに対応するために地域での子育て支援や児童虐待防止などへの取り組み、地域における高齢者や障がい者の自立と社会参加の支援、地域住民の社会貢献意識の高揚促進を図るなど地域社会において、そこに暮らす人々がお互いに「助け合い、支え合う」地域福祉の推進に努めてきました。

併せて、東日本大震災の被災者支援・避難者支援については、佐賀市・佐賀県共同募金会・日本赤十字社佐賀県支部と協力しながら引き続き行ってきましたが、佐賀市が大規模な災害に被災した場合に備えた、佐賀市社会福祉協議会の行動マニュアルとなる、「佐賀市社協災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」について整備することができました。

このように、佐賀市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的団体としての特徴を発揮し、「第二次佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなが参加、みんなで福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち」を達成するために、佐賀市をはじめ校区社会福祉協議会、民生委員児童委員、自治会協議会、ボランティア、地域の各種団体や福祉団体などとの連携を密にし、

- ① 人的ネットワークづくり
- ② 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ③ 充実した福祉サービスの仕組みづくり

の基本目標達成のために本所・支所・各センター・事業所一丸となつて多くの事業に取り組むことができました。

※各項目の金額は事業支出額、〔P. 〕は資金収支決算書の該当するページを表しています。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門

1 役員会開催状況 (180,000 円)

- (1) 第1回理事会 平成24年5月29日 (出席17名)
第1号議案 平成23年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
第2号議案 会員規程の一部改正について
第3号議案 経理規程の一部改正について
第4号議案 評議員の選任について
第5号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- (2) 第2回理事会 平成24年9月27日 (出席14名 書面表決1名 欠席2名)
第1号議案 平成24年度第1回一般会計資金収支補正予算(案)について
- (3) 第3回理事会 平成24年12月26日 (出席12名 書面表決2名 欠席3名)
第1号議案 平成24年度第2回一般会計資金収支補正予算(案)について
第2号議案 ボランティアセンター設置規程の一部改正について
- (4) 第4回理事会 平成25年3月27日 (出席16名 書面表決1名)
第1号議案 平成24年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 平成25年度事業計画及び一般会計・特別会計資金収支予算について
第3号議案 定款の変更について

2 評議員会開催状況 (366,000 円)

- (1) 第1回評議員会 平成24年5月29日 (出席27名 欠席8名)
第1号議案 平成23年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
第2号議案 会員規程の一部改正について
第3号議案 経理規程の一部改正について
第4号議案 理事の選任について
- (2) 第2回評議員会 平成24年9月27日 (出席28名 欠席7名)
第1号議案 平成24年度第1回一般会計資金収支補正予算(案)について
- (3) 第3回評議員会 平成24年12月26日 (出席28名 欠席7名)
第1号議案 平成24年度第2回一般会計資金収支補正予算(案)について
第2号議案 ボランティアセンター設置規程の一部改正について
- (4) 第4回評議員会 平成25年3月27日 (出席25名 欠席10名)
第1号議案 平成24年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 平成25年度事業計画及び一般会計・特別会計資金収支予算について
第3号議案 定款の変更について
第4号議案 監事の選任について

3 監査状況 (27,000 円)

- (1) 平成23年度事業・会計監査
平成24年5月 16・17・18・22日

4 苦情の受付及び解決状況（8,000 円）

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

（単位：件）

区分	相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	継続中	意見要望	計
高齢者	—	—	—	—	—	3	3
障がい者	—	—	—	—	—	—	—
児童	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	1	1
計	—	—	—	—	—	4	4

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業（512,000 円）〔P. 45〕

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

（1）地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内 26 地区の同協議会へ出席した。（毎月 5 日～15 日）

（2）佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため出席した。

（毎月 25 日）

2 地域福祉活動計画策定事業（50,466 円）〔P. 58〕

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第二期計画策定後 2 年が経過したことに伴い、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会に計画の進捗状況の報告を行った。

3 ボランティアセンター事業

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

（1）活動基盤整備事業（64,000 円）〔P. 59〕

①ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンターの適切な運営を図るため、事業内容などについて検討した。

第 1 回 平成 24 年 6 月 28 日（木）

- ・委員長及び副委員長の選任
- ・平成 24 年度佐賀市ボランティア活動協力校補助金申請について
- ・平成 25 年度以降のボランティア活動協力校事業補助金見直しについて

- ・平成24年度佐賀市ボランティア活動助成金申請について

第2回 平成24年9月26日（水）

- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター設置規程の見直しについて
- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会設置要綱の見直しについて
- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動助成金交付基準の策定について
- ・活動支援事業について

第3回 平成24年11月28日（水）

- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター設置規程について
- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会設置要綱について
- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動助成金交付基準について
- ・平成25年度ボランティアセンター事業計画について

第4回 平成25年2月26日（火）

- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター事業報告について
- ・佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター事業計画について

③ボランティア室の貸出

ボランティア団体や福祉団体等の活動を促すため、準備や会議、定例会、講座などを開催する場合に会場を無償で貸し出した。

- 利用団体 延201団体
- 利用者 延3,951人

（2）啓発推進事業

①ボランティア情報の提供

社協だより“愛・あい”に「ボランティアセンターだより」のコーナーを設け、情報提供を行った。また、ボランティア団体に対し、ホームページ等で民間助成事業に関する案内を行い、活動の幅が広がるよう支援した。

（3）養成研修事業（558,634円）

①ボランティアコーディネーター研修（539,704円）〔P.55〕

各校区社会福祉協議会から選出された会員を対象に、市が行う「ちょこっとボランティア」を推進するため、地域でボランティア活動のコーディネーターとして活動してもらえる人材を育成した。

校区社会福祉協議会から選出された会員を対象に、自らの地域で「ちょこっとボランティア」を推進するため、コーディネーターとして活動できる人材を育成した。

- 開催日 平成24年5月23日（水）
- 場 所 ほほえみ館 1階 きらきら学習室
- 参加者 60人
- 内 容 コーディネーターが持つべき視点として、『助けられる側の思いと自分自身を見つめ直すこと』を学んだ。

- 開催日 平成24年9月22日（土）
- 場 所 メートプラザ 1階 多目的ホール
- 参加者 33人

○内 容 コーディネーターに必要なスキルのひとつとして、『傾聴の大切さ』を学んだ。

○開催日 平成24年12月5日（水）

○場 所 ほほえみ館 1階 きらきら学習室

○参加者 51人

○内 容 コーディネーターが持つべき視点として、『支え合いの大切さと支える側と支えられる側がいて、初めて支え合いになること』を学んだ。

○開催日 平成25年2月8日（金）

○場 所 メートプラザ 2階 研修室

○参加者 56人

○内 容 すでに地域で行われている事業（身のまわり）の中に『見守りや助け合いが出来ていること』を校区の事例をもとに学んだ。あわせて、地域ボランティアとの連携を強化するため、佐賀市福祉ボランティア協会からも事例報告をいただいた。

②ボランティアリーダー養成研修（3,000円）〔P.59〕

佐賀市ボランティアセンター運営委員の交代に伴いセンターの適切な運営のため、運営委員の資質向上を図った。

○開催日 平成25年1月20日（日）

○場 所 諫早文化会館

○参加者 35人

○内 容 ボランティア連絡協議会役員を対象に、参加者同士が互いの課題を共有しながら、活動の牽引役として必要な知識・技術を習得し、ボランティア活動のさらなる活性化を図るため実施された。すでに研修の成果が、見えている地域もある。

③ボランティアのつどい（15,930円）〔P.59〕

佐賀市内でボランティア活動を行う会員の活動事例発表や研修会、交流会を実施した。

○開催日 平成24年9月4日（火）

○場 所 佐野常民記念館

○参加者 143人

○内 容 ボランティア連絡協議会役員の発案により「災害」をテーマに、講演会、炊出し体験、記念館見学、ワールドカフェが行われた。本会もボランティアとともに学び、交流を行った。

④小学生福祉体験学習事業

市内の小学生を対象に、講話・福祉体験・ボランティア体験を通して、「思いやりの心・ボランティアの心」を育み、心の糧を養った。

○開催日 平成24年5月17日（木）～25日（金）

○場 所 小学校（本庄、諸富北、南川副、中川副）

○参加者 216人（延）

○内 容 市内の児童・生徒を対象に、「思いやりの心・ボランティアの心」

(4) 災害時のボランティアへの取り組み (117,365 円) [P. 59]

災害発生時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

- ①「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の策定 (平成24年9月1日)
 - 災害ボランティアセンターの設置に受けた事前協議及び協定の締結
 - 市福祉総務課、市民活動推進課及び消防防災課との打合せ
- ②災害発生時の災害ボランティアセンターの設置・運営に関する研修会へ職員を派遣することにより、円滑な運営ができるように人材を育成する

災害支援ボランティアリーダー養成講座

- 開催日 平成25年1月28日 (月)・29日 (火)
- 場 所 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)【大阪府】
- 内 容 日頃の地域コミュニケーションの形成、障がい者をはじめとする要援護者が、災害に遭遇した場合の情報伝達や方法、避難所生活における様々な問題に対応できるボランティアを養成することを目的とした研修に参加した。

災害ボランティアセンター運営者研修

- 開催日 平成25年2月26日 (火)～28日 (木)
- 場 所 新梅田研修センター【大阪会場】
- 内 容 災害時に災害ボランティアセンターの設置・運営を行い、外部等からの運営支援者やボランティアとの協働により被災者支援を進めていく「運営者」の力を高めることを目的とした研修に参加した。

③被災地からこられた方の居場所づくり (ほっとカフェ)

- 開催日 毎週水曜日
- 場 所 ほほえみ館 2階 フリースペース
- 参加者 延302名
- 内 容 東日本大震災により、佐賀市に避難して来られた方が自由に集える場所を提供した。運営は、佐賀市ボランティア協会のボランティアや当事者で行った。

(5) 団体活動の支援 (2,504,965 円)

①ボランティア活動保険の受付

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

加入受付：128団体・35名 (個人ボランティアとしての加入者)
事故申請：12件 (内 辞退：2件・対象外：2件)

②ボランティア活動への助成 [P. 59]

福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

○ボランティア団体	56団体	1,110,000円
○ボランティア連絡〔推進〕協議会	9団体	450,000円

③学校ボランティア育成事業〔P.59〕

ボランティア活動協力校への補助

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育むことを目的に、学校における取り組みに対して、助成を行った（市内小・中・高校が対象）。

○助成校	35校（小学校：25校、中学校：7校、高校：3校）
○助成金	875,000円

佐賀市ボランティア活動協力校助成金説明会及び研修会

ボランティア活動担当教諭を対象に研修会を開催し、今後の事業の方向性を提示した。

○開催日	平成24年5月24日（木）
○場 所	ほほえみ館 1階 きらきら学習室
○参加者	32校
○内 容	学校への個別訪問を行った結果、学校から要望があった研修会について、「福祉の学習・ボランティア活動をより豊かにするために」をテーマに、「子どもと学ぶ福祉学習の魅力」について学んだ。
○開催日	平成25年1月28日（月）
○場 所	ほほえみ館 4階 視聴覚室
○参加者	48校
○内 容	子ども達に「福祉」を豊かに伝えていただけるよう身近な福祉課題として「高齢者の認知症」をテーマにした寸劇を通して、先生方に体感していただいた。

（6）その他の支援の事業

①24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

○開催日	平成24年8月25日（土）・26日（日）
○場 所	イオンモール佐賀大和・イオンスーパーセンター佐賀
○参加者	18団体
○内 容	市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行い、各団体との協働により福祉の街づくりを推進した。

②各ボランティア連絡（推進）協議会・ボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を行った。

③佐賀市おもちゃ図書館「むつごろう文庫」の運営（277,760円）〔P.59〕

布絵本や布玩具の制作、貸し出しを行っているボランティアグループ「むつごろう文庫の会」の協力を得て、生活訓練に役立つおもちゃの貸し出し、遊び場を提供した。

- 開館日 第1、4月曜日、第2土曜日
- 場 所 ほほえみ館軽スポーツ室
- 利用者 延592人

4 小地域ネットワーク活動

(1) 校区社会福祉協議会活動の推進・支援 (10,039,615 円)

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行った。

①校区社会福祉協議会運営費助成 (5,440,000 円) [P.55] 【共募配分 (一部)】

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

②校区社会福祉協議会会長会及び役員会の開催

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を4回(6月、9月、1月、3月)、役員会を6回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)開催し、情報交換を図った。

③校区社会福祉協議会役員研修 (795,615 円) [P.55]

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進に役立てるとともに役員の「地域づくり」に対する意識付けを行った。

○開催日 平成24年11月20日(火)～21日(水)

○研修地 20日(火): 菊池市社会福祉協議会
21日(水): 菊陽町社会福祉協議会

○内 容 菊池市における小地域福祉活性化事業の展開について

- ・ 隅府東部地区社会福祉協議会の取り組みについて
- ・ モデル地区の取り組みについて
- ・ 地域福祉コーディネーター支援員養成について

菊陽町における地域の支えあい活動について

- ・ 見守りネットワーク及びキャロットサービスについて
- ・ 地域拠点づくり事業
- ・ 孤立死防止モデル事業

○参加者 校区社協の会長・役員、市社協事務局長及び職員 計37名

④年末・年始地域福祉交流事業 (3,804,000 円) [P.64] 【歳末配分】

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	ひとり暮らし高齢者への年賀状 勸興まちの駅ふれあい事業 ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会	151,000
循 誘	循誘ふるさと祭り	228,000
日 新	新春を迎えるしめ縄づくりとぶた汁会	289,000
赤 松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い 鯨の門まつり 餅つき大会としめ縄づくり ひとり住まい高齢者への年賀状	312,000
神 野	ひとり暮らし高齢者交流会 ひとり暮らし高齢者料理会	238,000

	ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布 高齢者男性料理教室	
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり教室 ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	165,000
嘉 瀬	ふれあい異世代交流（どようひろば） 異世代交流事業指導 者講習会（しめ縄づくり） ふれあい異世代交流事業（しめ 縄づくり・ふれあいもちつき）	141,000
巨 勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会 餅つき・しめ縄づくり 巨勢小学校昔遊び(竹馬・竹とんぼづくり)	133,000
兵 庫	ふれあいの集い	140,000
高木瀬	ふれあい迎春のつどい～しめ縄づくりと豚汁の会 三世代交流 高齢者への迎春しめ縄プレゼント	349,000
北川副	第1回・第2回北川副校区ふれあいの集い しめ縄づくり事業 友愛年賀状事業 もちつき大会 北川副校区ふれあい冬祭り ふれあいサロン交流事業	251,000
本 庄	しめ縄づくり・餅つき大会 本庄校区町民ふれあい交流事業	250,000
鍋 島	第3回きらめきフェスタ 鍋島小PTA餅つき大会 中学生サンタがやってくる 防災・救急・救命講座 ふれあいロードレース鍋島町区駅伝大会	225,000
金 立	一人暮らし高齢者とのふれあいの集い	123,000
久保泉	ほんげんぎょう 餅つき大会	100,000
蓮 池	蓮池校区「こども冬まつり」石窯あそび みんなで昼食会 しめ縄づくり 一緒に遊ぼう	57,000
新 栄	新栄校区年末福祉交流餅つき大会 新栄校区ボランティア合宿訓練	208,000
若 楠	神野北自治会 G・Sふれあいの集い ほんげんきょう 若宮 餅つき大会 年末恒例餅つき大会 もぐら打ち 自治会主催ふれあい餅つき大会	244,000
開 成	三世代グラウンドゴルフ大会 子どもしめ縄づくり 独居 老人宛 年賀はがき・餅つき	200,000
合 計		3,804,000

（２）年末地域ふれあいまつり事業助成（40,735 円）〔P. 64〕【歳末配分】 大和

校区単位の実行委員会が実施する「ふれあいまつり（小学生児童、PTA、学校関係者、福祉ボランティア等の発表・交流事業）」に対して助成を行い、住民同士の交流を深めた。

春日小PTA「春日っ子ワクワク祭り」

○開催日 平成24年10月13日（土）

○場 所 春日小学校

松梅児・小・中学校合同親子ふれあい餅つき大会

○開催日 平成24年12月2日（日）

(3) 高齢者サロン事業 (17,907,863 円) [P.74]

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

◎サロン活動状況

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	4	58	923	279,300
循 誘	10	120	2,007	730,000
日 新	13	142	2,606	970,000
赤 松	1	11	132	70,000
神 野	12	129	3,070	950,000
西与賀	5	55	1,765	380,000
嘉 瀬	4	53	762	290,000
巨 勢	1	11	274	80,000
兵 庫	3	55	802	200,000
高木瀬	11	181	5,018	950,000
北川副	16	202	3,930	1,150,000
本 庄	5	73	1,475	380,000
鍋 島	1	18	406	90,000
金 立	10	120	2,623	705,000
久保泉	5	54	1,178	390,000
蓮 池	8	85	1,627	610,000
新 栄	6	957	9,774	510,000
若 楠	3	36	782	230,000
開 成	8	391	5,105	600,000
諸 富	18	256	8,236	1,545,000
大 和	17	266	4,544	1,290,000
富 士	9	127	2,512	700,000
三 瀬	6	69	1,020	380,000
川 副	21	260	3,583	1,510,000
東与賀	4	45	1,056	285,000
久保田	9	101	1,471	585,000
合 計	210	3,875	66,681	15,859,300

◎サロン遊具貸出状況

	スロット ボール	ボーリング ゲーム	輪投げ	室内 ペタンク	ハンディ カラオケ
保有数	3	5	15	4	2
件数	50	17	51	8	8

◎高齢者ふれあいサロン研修会

サロンの実施が円滑にできるよう事務説明会及び各サロン同士の交流会を概ね中学校

区ごとに計１３回実施した。

◎高齢者ふれあいサロン事業説明会

○開催日 平成２５年３月２６日（火）
○場 所 メートプラザ多目的ホール
○参加者 ２６１人

◎高齢者サロンリーダー研修会

地域で活動するサロンの協力者から「メニューがマンネリ化し、メニューづくりに悩んでいる。」という相談を受け、お金をかけなくてもできるレクリエーションの研修会を行った。

○開催日 平成２４年４月７日（土）
○場 所 高木瀬公民館
○参加者 ６２人

○開催日 平成２４年４月２８日（土）
○場 所 神野公民館
○参加者 ４３人

○開催日 平成２４年６月２２日（金）
○場 所 城西県営アパート集会所
○参加者 ３５人

（４）在宅高齢者会食会助成事業（１,６６３,４００円）〔P. 64〕【共募配分】【歳末配分】

地域の高齢者が公民館等に一堂に会し、食事等の提供を通じて、地域づくりの見守り活動に向けた「気づき」・「実践」の場となることを目的に地区社会福祉協議会等が行う会食会に対して助成金を交付した。

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	1	50	27,000
循 誘	ボランティア循友	3	230	89,400
	循誘地区民協	1	81	44,400
日 新	ボランティアにちりん	9	404	232,500
嘉 瀬	せいらんボランティア	4	121	69,000
巨 勢	ボランティア巨勢	6	201	104,700
	巨勢地区民協	1	30	15,600
本 庄	本庄校区社協	1	88	48,000
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	69	29,100
	高木瀬校区社協	1	123	51,000
北川副	ボランティア北川副	5	359	177,000
鍋 島	ボランティア鍋島	3	252	77,700
金 立	金立校区社協	9	348	123,600
久保泉	いずみボランティア	2	139	40,200
蓮 池	蓮池校区社協	2	53	27,300
新 栄	新栄ボランティア	4	605	213,200
	新栄地区民協	1	46	22,200

若 楠	ボランティア若楠	2	188	84,900
開 成	開成ボランティアひまわり	7	486	186,600
合 計		63	3,873	1,663,400

(5) 高齢者ふれあい会食会助成事業 (347,832 円) [P.64] 【歳末配分】 大和

(対象者：70歳以上のひとり暮らし高齢者)

大和地区民生委員児童委員協議会主催で、食生活改善推進協議会の協力のもと、会食や地元ボランティアグループによる出し物を行い、楽しんでもらった。

春日校区ふれあい会食会

- 開催日 平成24年12月1日(土)
- 場 所 尼寺公民館
- 参加者 78名

春日北校区ふれあい会食会

- 開催日 平成24年12月8日(土)
- 場 所 北原公民館
- 参加者 69名

川上校区ふれあい会食会

- 開催日 平成24年12月22日(土)
- 場 所 川上コミュニティセンター
- 参加者 270名

松梅校区ふれあい会食会

- 開催日 平成25年1月26日(土)
- 場 所 井手公民館
- 参加者 37名

(6) 愛の一声運動推進事業 (4,079,361 円) [P.61]

ひとり暮らし高齢者の安否確認と生活状況の常時把握、孤独感を慰め日常生活の安全を確保することを目的に、佐賀市民生委員児童委員協議会に委託して実施した。

※平成25年度から「ご近所見守り事業」を実施

登録者数

(単位：人)

地区名	前期	後期	地区名	前期	後期
勸 興	6	5	久保泉	14	13
循 誘	46	39	蓮 池	35	33
日 新	13	11	新 栄	14	13
赤 松	8	8	若 楠	8	8
神 野	36	31	開 成	8	8
西与賀	6	6	諸 富	65	61
嘉 瀬	1	1	大 和	7	6
巨 勢	11	10	富 士	111	111
兵 庫	22	22	三 瀬	28	27
高木瀬	13	10	川 副	78	73
北川副	20	20	東与賀	34	31
本 庄	27	24	久保田	16	16

鍋 島	1 0	1 0			
金 立	4 2	3 8	合 計	6 7 9	6 3 5

(7) 災害時要援護者避難支援対策事業 (85,007 円) [P. 62]

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等（災害時要援護者）に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体（自治会、民生委員児童委員、校区社協など）の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

○情報伝達訓練 平成24年11月23日（金）

○佐賀市総合防災訓練 平成24年11月23日（金）

要援護者登録数（平成25年3月末現在）

（単位：人）

地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計	地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計
勸 興	64	6	70	新 栄	80	7	87
循 誘	120	6	126	若 楠	85	0	85
日 新	104	4	108	開 成	85	3	88
赤 松	78	2	81	諸 富	142	1	143
神 野	113	4	115	春 日	30	1	31
西与賀	59	5	64	春日北	35	1	36
嘉 瀬	57	1	58	川 上	42	3	45
巨 勢	32	1	33	松 梅	17	1	18
兵 庫	91	2	93	富 士	58	2	60
高木瀬	109	5	114	三 瀬	9	1	10
北川副	157	7	164	南川副	24	0	24
本 庄	137	2	139	西川副	29	1	30
鍋 島	68	6	74	中川副	56	1	57
金 立	46	0	46	大詫間	6	0	6
久保泉	50	0	50	東与賀	77	3	80
蓮 池	36	2	38	久保田	49	2	51
				合 計	2,145	80	2,225

(8) 見守りネットワーク事業 (86,544 円)

①緊急連絡カードの整備 富士 三瀬

民生委員児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カード等の配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員児童委員、自治会長、訪問連絡員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。

○対象者 116名（富士）

27名（三瀬）

②生活困難者支援事業 (50,831 円) [P. 64] 【歳末配分】

生活福祉資金、小口貸付等の相談者の中で生活が窮迫状態にある世帯や、路上生活を強いられている方に対し、緊急的手段として缶詰やカップ麺などの食糧を配布した。

○本所 14件

○支所 2件

③一人暮らし高齢者見守り事業（35,713円）〔P.68〕【共募配分】**富士**<新規>

小地域を単位に関係機関の協力体制のもと会食会を開き、福祉への関心を高めると共に高齢者問題への認識を深め、一人暮らし高齢者を見守る体制の構築を図った。

（協力体制） 民生委員児童委員・食生活改善推進協議会・おたっしや本舗富士

○参加者 延36人

（9）健康づくり促進事業（1,125,303円）

①地域高齢者生活支援事業（73,582円）〔P.67〕【共募配分】**諸富**

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、保健師による講話、軽運動等を実施した。

○開催地区数 23地区

○参加者 延544人（男性184名、女性360名）

○事業内容 血圧測定、健康チェック、保健師による講話（血圧について）、軽運動等

②高齢者ふれあいサロン事業（79,947円）〔P.73〕【共募配分】**久保田**

家に閉じこもりがちな高齢者に、気軽に利用できる家庭的な雰囲気の中でサロンを実施した。

○登録者数 23名（参加者延210名）

○内 容 健康相談（血圧測定等）、食生活相談、日常相談等、文化活動（手芸等）、レクリエーション（健康体操、ゲーム、歌等）

○支援者 在宅看護職の会、県国保連合会、ボランティアグループ

○実施回数 12回

③高齢者支援講習会（22,680円）〔P.72〕【共募配分】**東与賀**

高齢者が、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただくことを目的に講習会を実施し各サロンで活用された。

○参加者 延41人

○内 容 脳トレーニング講習（認知症予防の手遊び等）、楽しいレクリエーション講習

○実施回数 計3回

④健康体操教室 **東与賀**

高齢者を対象に「NPO法人ふれあい館」と協働し、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

○参加者 延106人

○内 容 体力測定・血圧測定・健康チェック・ボール体操 他

○実施回数 計22回

⑤出てこん場事業（165,620円）〔P.68〕【共募配分】**富士**<新規>

コミュニティバス利用者を対象に専門の関係機関及びボランティアとの連携により、介護予防や生きがいづくりを支援した。

（実施内容） 健康体操〔年／12回〕

地域交流（ボランティア団体／折り紙）〔年6回〕

健康講座（富士大和温泉病院）〔年6回〕

音楽講座（ハーモニカ演奏と唱歌）〔年 6 回〕
栄養講座（食生活改善推進協議会）〔年 6 回〕
人権講話（人権相談員）〔年 7 回〕

○参加者 延 5 8 7 人
○講師数 延 7 1 人
○実施回数 計 4 3 回

⑥技能ボランティア養成講座（232,414 円）〔P. 72, 73〕【共募配分】

- ・絵手紙ボランティア養成講座（年 6 回） 東与賀 久保田
【東与賀支所】 参加者 延 1 3 6 名（受講生 3 1 名）
【久保田支所】 参加者 延 3 8 名（受講生 9 名）
- ・折り紙ボランティア養成講座（年 4 回） 東与賀（年 6 回） 久保田
【東与賀支所】 参加者 延 9 5 名（受講生 2 9 名）
【久保田支所】 参加者 延 8 0 名（受講生 2 1 名）
- ・レクリエーション指導者養成講座（年 6 回） 久保田
【久保田支所】 参加者 延 9 6 名（受講生 2 6 名）

⑦布のおもちゃ作り人材育成（551,060 円）〔P. 71〕【共募配分】 川副＜新規＞

乳幼児が安全で、安心して遊べる「布のおもちゃ」等を補修・作製できる人材を育成し、子育て支援の輪を広げることを目的に実施した。

○日 時 平成 2 4 年 9 月 7 日（金）～平成 2 4 年 1 1 月 1 6 日（金）
※上記期間中の第 1・第 3 金曜日（全 6 回）
○場 所 南川副公民館
○参加者 2 0 名

（10）高齢者相互交流事業（560,168 円）

①よかところ発見の旅〔P. 67〕【共募配分（一部）】 諸富

ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイクを実施。外出の機会の提供及び参加者・協力者の親睦を図った。

○開催日 平成 2 4 年 1 0 月 2 9 日・3 1 日、1 1 月 5 日・6 日（計 4 班）
○内 容 工場及び道の駅の見学及び会食
○参加者 7 8 名（高齢者 計 5 1 名、引率 計 2 7 名）

②ふるさと発見〔P. 70〕 三瀬

高齢者が名所・旧跡等を訪問・活用し知識を深めまた、生きがいづくりととじこもり予防・参加者相互のふれあいが行われるよう実施した。

○開催日 平成 2 4 年 4 月 6 日、7 月 1 1 日、1 0 月 1 7 日、平成 2 5 年 3 月 1 3 日
○内 容 見帰りの滝、蕨野の棚田、佐賀市議会傍聴、嘉瀬川ダム内部、西与賀下水浄化センター等の見学
○参加者 延 9 2 名（高齢者 8 4 名・引率 8 名）

③さがし探訪会〔P. 72〕【共募配分（一部）】 東与賀

高齢者世帯を対象に新たな魅力を求めて名所・旧跡等を訪ね見聞を広め、参加者同志の交流が深まり、社会的孤立感の解消に繋がった。

○開催日 平成 2 4 年 9 月 2 8 日（金）
○内 容 水ものがたり館・新鳥栖駅見学（新幹線）

○参加者 26名

④地域探訪会〔P.73〕【共募配分（一部）】**久保田**

外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図ることを目的に実施した。

○開催日 平成24年7月20日（金）

○内 容 さが水ものがたり館、新鳥栖駅見学

○参加者 55名

⑤生け花教室〔P.70〕【共募配分】**三瀬**

地域住民を講師に野の草花を利用した教室を実施することで、気軽に集うことができる場ができとじこもり防止を図った。

○開催日 年9回（4月から12月まで）

○参加者 延107人（登録24人）

（11）高齢者等食育推進事業（218,501円）【共募配分（一部）】

①ふれあい食事教室（114,567円）〔P.70〕【共募配分（一部）】**三瀬**

地元で採れた野菜や食材を使って料理教室を実施し、閉じこもりの防止や参加者同士の会話を通して生活への意欲の向上を目的に実施した。

○開催日 年6回（5月、6月、7月、8月、9月、10月）

○参加者 延93名（登録30名）

②男専科事業（83,534円）〔P.70〕【共募配分（一部）】**三瀬**

男性が元気で長生き出来るように地場食材の調理や加工（蕎麦打ち・わら細工）を学び、生活意欲の向上を目的に実施した。

○開催日 年4回（7月、10月、11月、12月）

○参加者 延49名（登録24名）

③高齢者食生活支援事業（20,400円）〔P.72〕【共募配分（一部）】**東与賀**＜新規＞

高齢者が食事を楽しめるよう、食の改善を図るとともに生活の質・維持向上のために老人クラブと協働で料理教室を実施する。また、食育に関する取り組みを普及し教室を通して互いに繋がり、日々の生活に潤いを持てるように食生活を支援した。

○開催日 年2回（8月、1月）

○参加者 延68名

（12）ふれあいチャレンジ塾（230,925円）

①ふれあいチャレンジ塾〔P.68〕【共募配分（一部）】**富士**

「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人（ボランティア支援者）が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

○参加児童 延101人

○支援団体 ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員女性部、食生活改善推進協議会、体育指導員、佐賀県レクリエーション協会

○開催数 5回

②三瀬ふれあいチャレンジ塾 [P. 70] 【共募配分（一部）】 三瀬

高齢者や他の地域の子も達との交流や遊びを通して、他人を思いやる心や共感することのできる心を育み、子ども達の健やかな心身の成長を支えた。

- 参加者 延 1 9 2 人（児童：1 4 4 人、スタッフ・ボランティア：4 8 人）
- 支援者 佐賀県レクリエーション協会、絵手紙グループ、老人クラブ会員、民生委員児童委員、母子保健推進員、食生活改善推進協議会
- 開催数 8 回

(1 3) 一輪車育成 (78, 650 円) [P. 68] 【共募配分（一部）】 富士

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、地域のイベントへの出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

- 参加児童 延 5 8 6 人
- 開催数 5 8 回

(1 4) 世代間交流事業 (668, 421 円)

①ふれあい会食会 [P. 71, 72, 73] 【共募配分（一部）】 川副 東与賀 久保田

川副地区（ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会）では、ひとり暮らし高齢者と園児が同じ時間を共有し、年長者への敬意や、幼児を慈しむ心を感じられる機会を設けた。また、民生委員児童委員や高齢者関係機関の職員、ボランティアが会し、日々の生活等の不安や困り事を話す機会を設け、孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、地域課題について話し合う場を持つことができた。

東与賀地区（ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会）では、世代間の交流と併せて、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。

一方、久保田地区（ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会）では、外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。（単位：人）

地区名（開催日）	高齢者	園児・児童	協力者	合計
西川副校区（12/4）	1 3	2 6	2 5	6 4
南川副校区（12/7）	1 0	2 6	1 4	5 0
大詫間校区（2/2）	3		2 4	2 7
中川副校区（2/27）	3 1		2 1	5 2
東与賀（8/3）	3 2	3 0	3 8	1 0 0
久保田（12/14）	4 7	3 0	3 6	1 1 3

②地域ふれあい交流事業 [P. 68, 71, 73] 【共募配分】 富士 川副 久保田

富士地区では、子ども、親、高齢者、障がいをお持ちの方など、地域の中には様々な人が住んでいるということを知る機会として、一輪車や銭太鼓の発表の場、特技を持つ人の作品出展、クラフトを通じた交流の場を通じて、世代間のつながりの大切さを理解することを目的に実施した。

川副地区では、グラウンドゴルフや稲刈り体験、ウォーキング等をとおして、高齢者や児童、地域住民が同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、世代を越えた交流を図った。

久保田地区（世代間交流事業）では、高齢者と子どもが一緒に楽しめる身近なスポーツ

を通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

(単位：人)

地区名（開催日）	高齢者	障がい者	児童	協力者	合計
富士（3/2）	1 3 2	—	2 8	高齢者に含む	1 6 0
南川副校区（8/3）	2 0	2 5	1 5	5 0	1 1 0
大詫間校区（10/30）	6 0	—	6 0	—	1 2 0
中川副校区（11/18）	1 0 3	—	4 9	—	1 5 2
西川副校区（12/7）	1 0	—	5 4	1 0	7 4
久保田（8/21）	2 4	—	2 2	5	5 1
久保田（12/8）	4 5	—	5	1 0	6 0

③男の工芸教室〔P.73〕【共募配分（一部）】 久保田

男性の集いの場を提供し、知り得た技術や情報を基に、地域での各種のボランティア活動への積極的な参加を促進していくために開催した。

○開催日 10月13日（土）、14日（日）、11月25日（土）、
12月8日（土）

○参加者 延26名（8名）

(15) 施設・地域交流事業 (310,328 円)

①施設の夏祭り支援 富士

高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。

開催日	場所	参加者（人）
7月28日	なごみ荘	約350
7月28日	富士学園	約530

②ふれあい夏祭り支援 (100,000 円)〔P.72〕【共募配分】 東与賀

障がい者福祉施設と地域住民との交流を深め、施設と一体となってイベントを開催・参加を促すことにより、施設利用者への理解を深めるとともに、障がい者福祉の向上を図る。併せて、ボランティア団体等に協力を促し、より一層の充実を目指した。

開催日	場所	参加者（人）
8月2日	めぐみ園	約800

③障がい児クリスマス交流会 (133,493 円)〔P.64〕【歳末配分】 諸富 東与賀

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

障がい児サロン事業【諸富支所】

○開催日 平成24年12月16日（日）
○参加者 41人（障がい児及び保護者、民生委員児童委員、ボランティア他）
○内 容 ボランティアによる余興、ケーキ作り、プレゼント配布

障がい児クリスマス会【東与賀支所】

○開催日 平成24年12月15日（土）
○場 所 東与賀保健福祉センター
○参加者 43人（障がい児15名、保護者7名、ボランティア他21名）

- 内 容 ケーキと小物づくり（サンタクロース壁掛け他）
レクリエーション、ゲーム、歌、めぐみ園よさこいソーラン披露、紙芝居等

④障がい者施設交流事業（50,105 円）〔P. 64〕【歳末配分】 久保田

小規模作業所利用者及び家族と民生委員児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

- 開催日 平成24年12月14日（金）
○対象者 障がい者小規模作業所（久保田サンハウス）利用者・家族
思斉館小学部・中学部特別支援学級児童生徒、民生委員児童委員、ボランティア、地域住民等
○内 容 利用者による合奏・合唱、児童生徒による劇、クリスマスプレゼント抽選会

⑤地域と施設のふれあい交流事業（23,930 円）〔P. 71〕【共募配分】 川副 <新規>

餅つきを通じて、障がい者と地域住民が相互理解を深め、地域に関わるすべての人たちがそれぞれの立場で協力し、支えあえる地域づくりを推進した。

- 対象者 まごころ授産所利用者と家族、及び地域住民と児童 単位：人

施設名	利用者	地域住民	協力者	合計
まごころ授産所（12/28）	25	10	20	55

⑥干潟（シチメンソウヤード）清掃活動（2,800 円）〔P. 72〕【共募配分】 東与賀

自然保護・環境保護の視点から、稀少植物シチメンソウヤードの清掃活動をボランティア推進協議会、佐賀南ロータリークラブと協働して、ボランティアの充実を図る為に住民参加のもと実施した。

- 開催日 平成24年10月28日（日）
○場 所 東与賀海岸
○参加者 90人

（16）歳末地域交流事業（721,455 円）〔P. 64〕

①世代間交流しめ縄づくり【歳末配分】 三瀬 川副 久保田

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込められた思い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ（地域力）の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。

【三瀬支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
○参加数 23人

【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

校区名	児童（人）	地域住民（人）	合計（人）	配布数（個）
南川副校区（11/30）	63	50	113	120
西川副校区（12/20）	103	50	153	46
大詫間校区（12/7）	33	40	73	15
合 計	199	140	339	181

【久保田支所】

- 対象者 小学生と保護者
- 参加数 24人

②世代間交流餅つき会【歳末配分】 諸富 富士 三瀬 川副

餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。

餅つき会及び一人暮らし高齢者への配布【諸富支所】

- 参加者 67名（ボランティア、民生委員児童委員、老人クラブ、小学生等）
- 配布数 252件

餅つき交流訪問事業【富士支所】

- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 117件

世代間交流餅つき会【三瀬支所】

- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者と二人暮らし高齢者
- 配布数 30件

世代間交流餅つき会【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

（単位：人）

校区名	児童	地域住民	合計
南川副校区（12/14）	61	70	131
西川副校区（12/7）	290	70	360
中川副校区（12/14）	126	50	176
大詫間校区（12/14）	61	40	101
合 計	538	230	768

③高齢者世帯会食交流会（92,008円）〔P.64〕【歳末配分】 東与賀

外出の機会が少ない高齢者が一堂に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

- 開催日 平成24年12月14日（金）
- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
75歳以上の高齢者のみ世帯
- 参加者 88名（高齢者36名；協力者52名）
- 内 容 ビンゴゲーム・踊り披露・手遊び
- 支援者 民生委員児童委員・ボランティアの友・保健師・栄養士・おたっしや本舗

④年末年始訪問事業（9,380円）〔P.64〕【歳末配分】 久保田＜新規＞

折紙講座受講者が作成した折紙を、会食会時にプレゼントとして渡すことにより、住民相互の交流を図る。また、絵手紙講座受講者の協力を得て、出来上がった作品を年賀状として送付し、高齢者と地域との交流を深めた。

折り紙

- 対象者 70歳以上の一人暮らし高齢者及び75才以上の高齢者のみの世帯
- 配布数 47人

絵手紙

- 対象者 80歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- 配布数 38人

5 福祉教育・啓発活動（5,430,304円）

（1）福祉体験学習指導者派遣事業（643,672円）〔P.55〕

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種 別	延講座数（回）	派遣校数（校）	派遣校名
アイマスク指導	89	19	赤松小、神野小、兵庫小、高木瀬小、西川副小、春日北小、芙蓉小、東与賀小、新栄小、開成小、久保泉小、諸富北小、諸富南小、川上小、城東中、城南中、金泉中、致遠館中、大和中、鍋島中、循誘校区社協
疑似体験指導	110	17	
車椅子指導	100	18	
事前協議	42	21	
合 計	341		

（2）実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	5校 13名	23日 (または10日)	久留米大学、福岡医療福祉大学、九州保健福祉大学、西九州大学、長崎国際大学
介護職員基礎研修	2事業所 61名	0.5日	介護労働安定センター 佐賀県社会福祉士会
体験学習 (教員免許特例法)	5校 34名	5日	佐賀大学、京都外国語大学、津田塾大学、佐賀女子短期大学、西九州大学
保育実習	2校 2名	10日	中村学園短期大学部 筑紫女学院短期大学
老人センター見学実習	1校 22名	1日	佐賀県立総合看護学院

（3）社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新（4,017,791円）

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

①社協だより“愛・あい”の発行〔P.54, 57, 60〕

- 1回の発行部数 101,450部（宅配）
- 1回の発行部数（点字版） 22部（郵送）

②佐賀市社協ウェブページ（ホームページ）の運営

- ホームページ開設 平成21年5月21日

(4) 諸富支所だよりの発行 **諸富**

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

また、町内の福祉施設、医療機関、行政、幼稚園・保育園、小・中学校等にも配布した。
(社協事業の紹介や講座等の案内、各種募金の使途明示、その他地域におけるふれあい活動の紹介等)

- 発行回数 計 12 回 (月 1 回)
- 配布方法 町内回覧
- 回覧部数 449 部/回
- 福祉施設等への配布 18 ヲ所(毎月配布)

(5) 第 8 回佐賀市社会福祉大会の開催 (687,786 円) [P.54]

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

- 開催日 平成 25 年 2 月 5 日 (火)
- 場 所 佐賀市文化会館 中ホール
- 来場者 約 800 名
- 被表彰者 30 名
 - ・表彰状 社会福祉団体役職員：6 名、民生委員児童委員：3 名
ボランティア団体：7 団体
 - ・感謝状 福祉事業等寄付者：12 名・7 団体
福祉事業協力者：2 団体

(6) はがき訪問事業 [P.72] 【共募配分】 【歳末配分】 **東与賀**

※ ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会、高齢者世帯会食交流会に含む
小学生児童が、ひとり暮らし高齢者に対し、暑中見舞や年賀はがきを送ることにより、高齢者へのいたわりの気持ちを伝えるとともに孤独感の解消を図った。

また、高齢者と児童との交流も深まった。

- 暑中見舞 対象者 92 名 配布数 184 通
- 年賀 対象者 89 名 配布数 178 通

(7) 被介護者体験研修 (60,475 円) [P.71] 【共募配分】 **川副**

住み慣れた場所で安心して生活できる協力体制を作るため、言葉かけの重要性を再認識できる研修会を開催した。

- 日 時 平成 24 年 9 月 13 日 (木)
- 場 所 佐野常民記念館
- 参加者 地域住民 11 名
- 内 容 地域住民に実際に介護を受ける側として、学生及び講師による体位変換や移乗、車椅子移動等の体感。

(8) ふれあい年賀状事業 (21,000 円) [P.64] 【歳末配分】 **大和**

大和町内に在住の 70 歳以上の単身高齢者に対し、小学生児童が作成したふれあい年賀状を安否確認も兼ねて、民生委員児童委員の訪問または、郵送により届けた。

高齢者がお礼のため、小学校を訪問したり、返事がかかれたり、小学生が児童会の代表者で民生委員児童委員協議会に出席して、プレゼントを再び高齢者に届けてほしいと渡されたりと、地域の中での交流が深まった。

- 配布数 420 通

6 地域子育て支援センター事業（5,078,000円）〔P.59, 63, 66, 67, 68, 69, 70, 72, 73〕【共募配分（一部）】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

諸富支所を基幹とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図った。

（1）子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。

（単位：人）

	開館日数 開催日	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
諸富ふれあい広場 (佐賀市産業振興会館内)	238 火～土(10:00～16:00)	3,568	3,000	191
ふれあいの一む (富士支所庁舎内)	245 月～金(10:00～16:00)	166	183	113
大和まほろば広場 (大和老人福祉センター内)	51 水(10:30～15:30)	169	127	34
みつせスマイルキッズ広場 (三瀬保健センター内)	12 毎月概ね20日	54	44	19
むつごろう文庫 (保健福祉会館内)	33 第1月、第2土、第4月	303	289	54
よかっこ広場 (東与賀福祉センター内)	22 第2・第4火(10:00～12:00)	108	103	28

② 子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。

（単位：人）

ひろば名	サロン名	実施回数 開催日	実施内容	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	赤ちゃん広場	12回 第2(火)	乳児対象の発育相談とわらべ唄	142	140	—
	かすたねっとサロン	13回 第4(金)	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	397	324	93
	にこにこ広場	11回 第3(水)	アンパンマン体操、ふれあい遊び	214	182	45
	絵本の広場	12回 第2(木)	絵本の読み聞かせ	99	89	13
	布おもちゃで遊ぼう	12回	布遊具を使ったふれあい遊び	118	97	35

		第1(水)				
	あつまろっと広場	3回 (4・10・3月)	スタッフによるふれあい交流	9 5	8 9	5 0
大和まほろば広場 (大和)	音と遊ぼう	1 2回 第1(水)	音楽リトミック	1 1 8	9 7	2 5
	ベビーマッサージ	4回 (5・8・11・3月)	ベビーマッサージ (パパのベビーマッサージ1回)	6 0	6 5	6
	まほろばサロン	3回 (6・10・12月)	マジック&アートバルーン おはなし会	1 4 2	8 1	2 2
	まほろば広場	7回 (随時)	ハニークラブ (おやつ作り2回) じゃがいも掘り・寄せ植え リンゴ狩り (三瀬)、クリスマス ハンドベルコンサート、ピッコロ の縮緬おひな様づくり	7 3	6 8	3 4
ふれあいるーむ (富士)	ふじっこサークル	1 1回 第1(水)	七夕会、温泉遊び、パソコン教室 ハロウィンづくり、クリスマス会 キャンドルづくり、おはなし会 アロマ、運動でリフレッシュ等	7 1	7 4	2 3
	ぐんぐん金曜日	3 4回 (金)		2 6 0	2 1 1	5 3
	わらべうたサロン	1 3回 第3(火)		5 4	4 3	1 2
	のびのびタイム	1 2回 第2(火)		3 9	3 2	1 0
よかっこ広場 (東与賀)	よかっこ広場	1 2回 第3(水)	ベビーマッサージ、よかよか運動 会、幼児安全法講習会、クリスマ スコンサート、育児相談	3 1 8	2 8 8	2 8
なかよし広場 (久保田)	なかよし広場	1 1回 不定期(月)	リズムダンス、ミニ運動会、 乳幼児救急法、クリスマス会 布おもちゃ遊び、大型絵本	1 4 5	1 2 0	4
みつせスマイルキッ ズ広場 (三瀬)	みつせ スマイルキッズ	1 2回 概ね10日	バスハイク、布おもちゃづくり ミニ運動会、リンゴ狩り、七夕会、 クリスマス会、おやつ作り	5 5	4 8	4 6
むつごろう文庫 (佐賀市おもちゃ図書館)		1 1回 第1(月)	布おもちゃで遊ぼう	1 8 9	1 7 2	1 8
		1 2回 第4(月)	童話の読み聞かせ	1 3 5	1 2 5	1 6

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施（各つどい場で実施）

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

①子育てに関する相談

(単位：件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
諸富	200	38	34	30	18	229	8	83	320
富士	29					29			29
東与賀	20	3	4	5	2	34			34

②専門家による子育て相談（年6回）

○相談件数 83件

③子育て講座の開催（4回連続講座を2か所で実施）

(単位：人※親子)

講座名	諸富支所	本所	合計
乳幼児の成長	53	46	99
離乳食実習	51	46	97
幼児救急法	56	44	100
親子ふれあい遊び	52	28	80
合計	212	164	376

(3) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

①子育てサポーターの育成

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

	開催場所	回数(回)	内容	参加延べ人数(人)
サポーター養成講座	本所	4	支援の現状・救急対策・子どもの成長・ふれあい遊び等	57
研修会	諸富	1	子どもの成長とサポーターの関わり方	27
	視察研修	1	『このとりのゆりかご』視察	23

②子育てサークル等の育成・支援

「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。

○子育てサークルの交流

センターのサークル交流事業として“出会いの広場”を開催

○支援サークル

支所	諸富	大和	富士
支援サークル数	4	2	1

(4) 乳幼児一時預かり事業

①広場での一時預かり

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

○利用者延 6名（計13時間）

②出張託児の実施（基幹型）

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。

- 依頼件数延 48件
- 派遣者数延 293名

(5) 子育て支援に関する情報の提供

子育て情報紙を随時発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙「ハッピーママ」と「ふれあい広場だより」を月1回発行した。

①ホームページによる情報提供

子育てに関する最新情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

②子育て情報紙「ハッピーママ」・「ふれあい広場だより」の発行（月1回）

○主な配布先 市内子育て支援センター、図書館、児童センター、保健センター等

(6) 地域の子育て力を高める取組みの実施

地域の実情に応じ、地域の子育て力を高めることを目的とした取組みについて、積極的に実施するよう努めた。

①「出前交流広場」の開催

地域のボランティアとともに地区公民館等で「交流サロン」等を開催し、地域交流の場の支援を行った。

○実施回数 16回（浮盃地区、三瀬地区、新栄地区（3回）、西与賀地区（11回））

○参加者 延255名（乳幼児119名、保護者136名）

②地域「世代間交流事業」への参画

地域世代間交流事業（こどもフェスタ等）への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

【出会いの広場】

○開催日 平成24年4月24日（火）

○内 容 佐賀市社協子育て支援センター事業の紹介（単位：人）

乳幼児	保護者	ボランティア等	関係機関	合計
40	48	43	21	152

【こどもフェスタ】

○開催日 平成24年6月5日（日）

○内 容 ボランティア団体等による体験コーナー（単位：人）

子ども	大人	小学生スタッフ	ボランティア	合計
334	189	47	106	676

③児童の居場所づくり

ふれあい広場において、小学生の放課後時間を利用してのボランティア体験受入を行ない、地域住民とのふれあいの下、キッズ（小学生）ボランティアの育成を図った。

○参加者 延7名

④父親同士の交流推進

父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロン（土に親しむサロン）を開催した。

○実施回数 3回

○内容 芋苗植え、つる返し、収穫

○参加者 延107名（子57名・親50名）

7 各種福祉団体支援事業

(1) 福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,300,000円）〔P.55〕

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

○運営費助成（10団体）

佐賀市遺族連合会	佐賀市原爆被害者の会
佐賀市視覚障害者福祉協会	佐賀市肢体不自由児・者父母の会
佐賀市身体障害者福祉協会連合会	佐賀市母子寡婦福祉連合会
佐賀市老人クラブ連合会	富士町銭太鼓愛好会
川副町そらの会	久保田町遺族会

○事業助成（7事業）

佐賀心理リハビリテーションキャンプ費（佐賀県若楠ふたばの会）
 視覚障害者体力増強費（佐賀市視覚障害者福祉協会）
 福祉研修費（佐賀市視覚障害者福祉協会）
 佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）
 老人施設ボランティア活動費（佐賀市視覚障害者福祉協会）
 一日ファミリーデー事業助成費（佐賀市母子寡婦福祉連合会）
 母子結婚相談事業助成費（佐賀市母子寡婦福祉連合会）

（2）子育てサロン・サークル支援事業（518,430円）〔P.64〕【歳末配分】

市内の子育てサロンに「クリスマスプレゼント」として、大型絵本・エプロンシアターの贈呈を行うと共に、「いのちを育む防災講座」として、命を守る古武技術のやクライミングテクニックを使った知恵と技を身につける講座を開催した。

①大型絵本・エプロンシアター贈呈 贈呈先：子育てサロン 55サロン
 ②防災講座 参加者：25人

（3）福祉バスの利用〔P.44〕※本所法人運営事業費で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。

○登録団体数 71団体
 ○利用件数 164件

8 共同募金配分金事業（21,949,382円）〔P.64～73〕

（1）共同募金配分金事業（15,018,871円）

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	防犯灯の設置助成	2,424,442	2,404,136	31
	佐賀市移送サービス事業	812,094	812,094	40
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,320,000	2,850,000	8
	在宅高齢者会食会助成事業	400,770	400,770	11
諸富	地域高齢者生活支援事業	73,582	73,582	14
	よかこ発見の旅	156,918	50,418	15
	地域子育て支援センター事業	5,078,000	886,000	23
大和	まほろばサロン	57,367	57,367	24
	まほろば広場	135,233	124,633	24
富士	ひとり暮らし高齢者見守り事業	35,713	28,513	14
	出てこん場事業	165,620	91,120	14
	ふれあいチャレンジ塾	106,339	90,807	16
	一輪車育成	78,650	67,450	17

	地域ふれあい交流事業	83,640	83,640	17
	子育て支援事業（ふれあいるーむ）	258,470	258,470	24
三瀬	ふるさと発見	101,200	0	15
	生け花教室	22,536	22,536	16
	ふれあい食事教室	114,567	86,531	16
	男専科事業	83,534	60,634	16
	三瀬ふれあいチャレンジ塾	124,586	108,586	17
	みつせスマイルキッズ	73,513	68,713	24
川副	布のおもちゃづくり人材育成	551,060	541,060	15
	ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会	117,672	101,472	17
	地域ふれあい交流事業	198,063	198,063	17
	地域と施設のふれあい交流事業	23,930	23,930	19
	被介護者体験研修	60,475	60,475	22
東与賀	高齢者支援講習会	22,680	22,680	14
	折り紙・絵手紙講座	86,189	86,189	15
	さがし探訪会	90,018	70,018	15
	高齢者食生活支援事業	20,400	9,200	16
	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会	100,008	93,808	17
	ふれあい夏祭り支援	100,000	100,000	18
	干潟（シチメンソウヤード）清掃活動	2,800	2,800	19
	よかつこ広場	269,474	233,305	23
久保田	高齢者ふれあいサロン事業	79,947	79,947	14
	技能ボランティア養成講座	146,225	146,225	15
	地域探訪会	189,496	106,996	16
	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会	116,430	102,330	17
	地域ふれあい交流事業	55,765	55,765	17
	男の工芸教室	86,843	82,843	18
	なかよし広場	130,217	129,894	24
合 計			10,873,000	

（２）歳末たすけあい配分金事業（6,930,511 円）〔P. 64〕

前年度、運動期間中（１２月１日から１ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	頁数
全市	生活困難者支援事業（年末福袋配布）	50,831	13
	歳末育児支援事業（大型絵本の贈呈、いのちを育む防災講座）	518,430	27
本所	年末・年始地域福祉交流事業（校区社協）	3,804,000	8
	在宅高齢者会食会助成事業	1,262,630	11
諸富	障がい児サロン事業	51,253	18
	ふれあい交流会（餅つき及び会食）	127,058	20
大和	年末地域ふれあいまつり事業助成	40,735	9
	高齢者ふれあい会食会	347,832	12
	ふれあい年賀状事業	21,000	22
富士	餅つき交流訪問事業	122,614	20

三瀬	世代間交流事業（餅つき会、しめ縄作り）	45,955	19
川副	世代間交流しめ縄作り	168,245	19
	世代間交流餅つき会	128,090	20
東与賀	障がい児クリスマス会	62,240	18
	高齢者世帯会食交流会	92,008	20
久保田	障がい者施設交流事業	50,105	19
	世代間交流事業	28,105	19
	年末年始高齢者訪問事業	9,380	20
合 計		6,930,511	

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（6,118,634 円）〔P. 60〕

※決算額のうち、150,000 円は P. 21「社協だより“愛・あい”の発行」にも含む。

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

※相談や支援計画作成は無料。ただし、契約締結後の支援については利用料が必要となる。

（1）基幹的社協の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。（単位：人）

市町社協	新規契約者数	解約者数	契約者数
多久市	4	2	9
小城市	1	2	4
神崎市	2	1	8
吉野ヶ里町	0	1	3
合 計	7	6	24

（2）福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）

①福祉サービスの利用援助サービス

- 福祉サービスに関する情報提供、相談、助言
- 福祉サービスの利用手続援助（申込手続同行・代行、契約締結）
- 利用している福祉サービスに苦情・不満がある場合の苦情解決制度の利用手続支援

②日常的な金銭管理サービス

- 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- 福祉サービス利用料の支払い代行
- 公共料金・家賃・医療費・日用品等の代金の支払い手続き代行
- 生活費の使い方についてのアドバイス
- 上記に必要な預貯金の出し入れ、解約などの手続き
- 施設や病院が行う金銭管理に対する見守り

③書類等の預かりサービス

- 定期預金の通帳や年金証書・印鑑など書類等の保管
- 銀行の貸金庫を利用したの保管（別途利用料（実費）が必要）

（単位：件）

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ件数	5 8 1	1, 3 4 5	1, 0 8 5	2 0	3, 0 3 1
新規契約件数	2 2	6	6	0	3 4
解約件数	9	2	3	0	1 4

契約者数

(単位：人)

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件／年)
本 所	3 9	1 7	1 9	4	7 9	1, 6 5 3
諸 富	2	0	2	0	4	4 9
大 和	5	5	0	0	1 0	1 1 1
富 士	3	0	0	0	3	2 5
三 瀬	0	2	0	0	2	2 4
川 副	4	2	5	1	1 2	1 6 0
東与賀	0	0	1	0	1	2 4
久保田	2	1	2	0	5	7 4
合 計	5 5	2 7	2 9	5	1 1 6	2, 1 2 0
H 2 3 度末	4 5	2 2	2 5	4	9 6	—

2 生活福祉資金貸付事業 (6,451,000 円) [P. 106]

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

○対象世帯

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

○資金種類 (5 種類)

生活福祉資金 (総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例つなぎ資金

(単位：件)

	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等件数	2 0 3	5	2 0 8
貸付件数	3	0	3

○生活福祉資金相談内容

総合 116、福祉 57、教育 20、不動産 10

3 福祉資金 (小口) 貸付事業 (5,041,443 円) [P. 107]

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に 3 万円を上限として貸し付けを行った。

件数 (件)	金額 (円)
相談・問い合わせ	3 1 4
貸付	1 8 2
償還	2 9 5

※貸付と償還の件数差は、1 件の貸付けに対し、最長 6 回までの償還回数となる場合があるため

4 住民の福祉活動の推進・支援 (3,965,742 円)

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞 (200,000 円) [P. 55]

災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、自力更生の向上を図るため見舞金を支給した。

別途、佐賀県共同募金会、日本赤十字社佐賀県支部の取扱窓口として見舞金等の支給を行った。

	災害件数	罹災世帯数	人数（人）	見舞金（円）
火災	9	12	22	200,000
水害	—	—	—	—
合計	9	12	22	200,000

（参考）見舞金品支給状況

佐賀県共同募金会	日本赤十字社佐賀県支部				
見舞金	見舞金	毛布	日用品 セット	バスタオル セット	タオル セット
80,000 円	200,000 円	40 枚	21 組	18 組	4 組

（２）児童遊園地整備助成金（1,341,300 円）〔P.55〕

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	1	32,400	諸 富	2	51,600
西与賀	3	196,600	西川副	2	93,800
北川副	4	104,100	中川副	2	96,300
本 庄	3	137,000	東与賀	8	489,300
蓮 池	1	43,400	久保田	1	60,000
若 楠	1	36,800	合 計	28	1,341,300

（３）防犯灯の設置助成（2,424,442 円）〔P.65〕【共募配分】

市内地区自治会等が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修・切り替え及び蛍光管等の取り替え等を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	12	32,100	新 栄	17	41,250
循 誘	18	115,250	若 楠	29	85,550
日 新	41	65,100	開 成	16	103,790
赤 松	20	67,600	諸 富	37	55,460
神 野	29	140,492	春 日	18	95,650
西与賀	22	28,700	春日北	25	95,987
嘉 瀬	14	67,481	川 上	17	58,043
巨 勢	25	55,700	松 梅	10	33,800
兵 庫	24	109,161	富 士	12	166,200
高木瀬	33	232,950	三 瀬	8	63,400
北川副	30	92,750	南川副	3	17,000
本 庄	40	112,450	西川副	1	3,000
鍋 島	34	177,950	中川副	3	28,000
金 立	25	73,450	東与賀	29	47,128
久保泉	33	60,450	久保田	50	96,350
蓮 池	7	2,250	合 計	682	2,424,442

（４）備品の貸し出し

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

（単位：台）

		本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	計
車椅子	保有数	17	4	17	6	2	6	7	9	68
	延利用数	303	3	51	7	1	9	11	7	392
4点杖	保有数	1								1
	延利用数	0								0
電動ベッド	保有数								2	2
	延利用数								0	0
手動ベッド	保有数				3					3
	延利用数				0					0
エアマット	保有数				2				1	3
	延利用数				0				0	0
電動四輪車	保有数								6	6
	延利用数								3	3
液晶プロジェクター	保有数	1			1				1	3
	延利用数	8			0				4	12
スクリーン	保有数	1			1				1	3
	延利用数	6			4				0	10
マイク一式	保有数	1	1						1	3
	延利用数	7	0						0	7
防災釜	保有数							1		1
	延利用数							1		1
もちつき道具一式	保有数		2							2
	延利用数		9							9

(5) 県内高齢者フリー定期券（昭和自動車シルバーパス）販売（受託事業）〔P. 49, 50〕

富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

○対象者 75歳以上の高齢者（昭和11年3月31日以前に生まれた方）

○販売数 204枚

5 祭壇貸付事業〈特別会計〉（126,960円）〔P. 109〕 久保田

葬儀の費用負担を軽減するため、自宅等で葬儀を行う場合に指定委託葬祭業者が祭壇の飾りつけ及び撤去を行い、地域住民の福祉の増進を図った。

	A型	B型	C型	計
利用料(円)	31,500	28,350	26,250	
貸付件数(件)	0	3	3	6

6 福祉サービス第三者評価事業〈特別会計〉〔P. 108〕

個々の事業者（福祉施設）が、事業運営における具体的な問題点や課題などを把握し、サービスの「質」の向上に結びつけるとともに評価結果などが利用者にとって適切なサービス選択に役立つ情報源となるように事業所登録を行っている。

○評価対象施設 障がい児（者）施設、児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、保育所、児童館、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、婦人保護施設、救護施設など

○評価調査者 9名

○評価実績 なし
※平成25年度からは実施しない

7 総合相談事業 富士

(1) 暮らしのトラブル無料法律相談

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、ボランティアの協力により、市民からの相談に応じる体制を整えた。

○実施回数 毎月第3火曜日 15:00～17:00
○相談員 司法書士

8 健康・生きがい促進運営事業 (1,763,000 円) 三瀬

(1) 流水浴機器等管理運営事業 (1,763,000 円) [P. 80]

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

○受付時間 月曜日、水曜日、金曜日 10:00～15:00
 火曜日、木曜日 13:00～16:00
○利用者 延2,766人

9 三瀬地域巡回バス運営事業 (3,120,000 円) [P. 81] 三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数（日）	延利用人数（人）	内訳	
		一般（人）	児童（人）
245	4,642	2,314	2,328

佐賀市三瀬支所庁舎を基点に東部地区内を運行

10 放課後児童クラブ事業 (10,417,600 円) 大和 川副

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

(1) 松梅児童クラブ (2,081,600 円) [P. 78]

○場 所 松梅児童館
○対象者 保護者が仕事などのために、昼間いないことが常態となっている家庭の小学1年生～6年生までの児童
○利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30、土曜日 8:30～17:00
 長期休暇（夏・冬・春休み）
 月曜日～金曜日 8:30～18:30、土曜日 8:30～17:00
○開設日数 283日
○利用児童数 延2,978人

(2) 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ (8,336,000 円) [P. 82]

○場 所 各小学校
○対象者 保護者が仕事などのために昼間いないことが常態となっている家庭の小学1年生～3年生までの児童
○利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30、土曜日 8:00～18:30
 長期休暇（夏・冬・春休み） 月曜日～土曜日 8:00～18:30

通常時（土曜を含む）

区分	南川副	西川副	中川副	大詫間	合計
開設日数（日）	2 3 7	2 4 4	2 0 3	休止中	
延人数（人）	3, 2 5 1	4, 0 4 2	3 9 0		7, 6 8 3

長期休暇期間（4クラブ合同）

区分	春季休業	夏季休業	冬季休業	学年末	合計
開設日数（日）	6	2 7	6	5	4 4
延人数（人）	1 5 6	1, 2 9 7	2 1 3	2 0 3	1, 8 6 9

1 1 老人福祉センター等運営事業（75,361,240 円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

（1）佐賀市平松老人福祉センター（20,285,372 円）〔P.85〕

①平松老人福祉センター事業

- 入浴日 月、水、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 民謡、大正琴、書道、囲碁、生花、カラオケ（2つのクラブあり）民舞、将棋、水墨画、フォークダンス、吟詠、謡曲、陶芸、俳句、三味線、自彊術（じきょうじゅつ）、麻雀、脳いき、絵手紙
- 年間行事

健康相談	毎月	第1木曜日	13:30～15:30
	奇数月	第3月曜日	13:30～15:00
囲碁大会	毎月	第2土曜日	
将棋大会	奇数月	第4土曜日	
文化祭	敬老月間における作品展示及び発表会		

○年間の利用者数

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	2 7, 3 3 5	3 7 5	2 7, 7 1 0	
女	1 5, 7 5 9	3 9	1 5, 7 9 8	
合計	4 3, 0 9 4	4 1 4	4 3, 5 0 8	1 4 7

②佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日 ただし8月は休み）

長寿社会の中で高齢者が積極的に学習に取り組み、生活をより充実させ、生きがいを求めて地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

- 学生数 1 2 7 名（1年生6 5 名 2年生6 2 名）
- 入学式 平成24年4月12日（木）
- 教育過程
 - ・教科学習 一般教養、郷土史、健康、園芸
 - ・企画学習 グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業
1・2年生交流授業、同期生講師による講義
 - ・学生活動 「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行
- 年間講義等数 1年生37回、2年生37回
- クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵てがみ、パソコン
- 卒業式 平成25年3月5日（火）

(2) 佐賀市巨勢老人福祉センター (15,353,479 円) [P.86]

①巨勢老人福祉センター事業

- 入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 大正琴、舞踊、書道、フラダンス、囲碁、生花、カラオケ、フォークダンス、吟詠、謡曲、童謡唱歌、写真、編物、水墨画
- 市事業協力 脳いきいき健康塾
- 年間行事 健康相談（保健師）
 - 第1火曜日 10:00～12:00
 - 第4金曜日 13:00～15:00
 - 偶数月第1水曜日 10:00～11:30
 - 囲碁大会 毎月第3水曜日

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	14,297	490	14,787	
女	14,349	291	14,640	
合計	28,646	781	29,427	100

②巨勢シルバーカレッジ (開講日：毎月第1・第3木曜日)

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを志すために開設した。

- 学生数 57名 (1年制)
- 入学式 平成24年4月19日 (木)
- 講義 一般教養、郷土史、健康づくり等 年19回
- 修了式 平成24年3月21日 (木)

(3) 佐賀市金立いこいの家 (11,911,341 円) [P.88]

①金立いこいの家事業

- 入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 民謡、囲碁、フォークダンス、グラウンドゴルフ、大正琴、書道
生花、歌謡曲、押花、パッチワーク、気功、園芸
- 市事業協力 脳いきいき健康塾、元気アップ教室（市委託事業）
- 年間行事 健康相談（保健師）
 - 第2火曜日 10:00～12:00
 - 13:30～15:30
 - 偶数月第3火曜日 13:00～15:00
 - 囲碁大会 毎月第2水曜日

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	7,671	75	7,746	
女	9,624	163	9,787	
合計	17,295	238	17,533	60

②金立いこいの家文化講座 (開講日：第3金曜日)

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

- 学生数 47名 (1年制)
- 入学式 平成24年4月20日 (金)

- 講 義 一般教養、健康づくり、園芸、料理、郷土史等 年12回
○修了式 平成25年3月15日(金)

(4) 佐賀市開成老人福祉センター (13,133,955 円) [P.90]

①開成老人福祉センター事業

- 入浴日 月～金曜日 11:30～15:00
○クラブ活動 囲碁、将棋、大正琴、折紙
○市事業協力 元気アップ事業
○年間行事 健康相談(保健師) 第1月曜日 13:30～15:30
囲碁大会 毎月第2月曜日
大正琴 毎月第1・第3水曜日

(単位:人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	11,107	103	11,210	
女	3,503	0	3,503	
合計	14,610	103	14,713	50

○元気アップ事業で開成老人福祉センター集会室利用者数 4,659人(スタッフ含む。)

(5) 佐賀市大和老人福祉センター (14,677,093 円) [P.93]

①大和老人福祉センター事業

- 入浴 月～金曜日 11:00～15:00
○年間行事 健康相談(保健師) 第2月曜日 13:30～15:30

(単位:人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	4,982	178	5,160	
女	4,303	26	4,329	
合計	9,285	204	9,489	32

②温泉バスの運行

公共交通機関等での移動が困難な高齢者が老人福祉センターを円滑に利用できるよう、地区内全域を巡回する温泉バスを運行し、高齢者の生きがいをづくりや健康増進を支援した。

- 運行日時 月～金曜日
迎 10:00～ 送 14:30～
○利用料 無料

12 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業 (28,489,118 円) [P.91]

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

- 職員数 5名(所長1名、母子指導員2名、少年指導員2名)
○定員 19世帯
○入所世帯数 17世帯(43名)※平成25年3月末現在
○世帯主平均年齢 36.8歳
○平均在所期間(世帯) 29.2ヶ月 (単位:世帯)

1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	5年以上	合計
3	4	5	4	1	17

- 年間行事 子どもの日会、七夕会、クリスマス会、進級御祝い会、
避難訓練(月1回)、消防訓練(年2回)、母の会(月1回)、
健康診断(年2回)、外庭掃除(月1回以上)、大掃除(夏季・年末)

1 3 松梅児童館運営事業（18,874,002 円）〔P. 95〕 大和

児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにし、遊びを通して体力増強を図るとともに母親クラブ、子ども会など、地域組織活動の育成助長を図った。また、松梅校区に幼稚園・保育園がないため、就学前の保育を行った。併せて、子育て家庭の支援及び子どもの就学までの発達に応じた遊び場の提供、学習を支援・指導を行った。

開館日数 (日)	利用者 (人)					
	館児	幼児	一般	小学生	総計	1 日平均
2 9 5	5, 0 5 2	1, 3 3 7	1, 2 0 3	8 7 5	8, 4 6 7	2 8. 7

(1) 保育事業（2～5 歳児 2 7 名）

- 利用日 月～土曜日 8：30～17：00
- 延長保育 月～金曜日 18：30まで
- 実施内容 ※市の保育カリキュラムによる保育
お遊戯、工作、自然散策、体育遊び、お茶教室、季節行事等

(2) 夏祭り及び松梅児・小・中学校合同親子ふれあい餅つき大会の実施

松梅地区と合同でバザーの開催、露店の出店、ビンゴ大会などを行った。

(3) 母親クラブ活動支援

歯科教室の実施・苺摘み・歓迎遠足・事故防止講話・七夕会・美化活動・佐賀市母親クラブ主催各種研修参加・除草作業・バス遠足 等

(4) 子育て支援（毎月 1 回どよう館の実施）

校区及び児童館児親子に参加を呼びかけ、卓球・バトミントン・ミニバレー・けん玉・手作り教室・長縄跳び等を実施した。

事業名	開催日	参加人数
卓球をしよう	4 月 2 1 日	8
	9 月 2 4 日	6
バトミントン	5 月 2 6 日	5
まほろばサロン	5 月 2 6 日	1 6
	2 月 2 3 日	9
ミニバレー	6 月 3 0 日	5
計		4 9

1 4 佐賀市産業振興会館管理事業（1,540,904 円）〔P. 77〕

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
134	9,738	178	3,943	186	3,560	106	2,195	29	1,787	633	21,223

1 5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
137	2,123	83	2,242	22	229	83	1,831
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
17	408	154	4,667	100	3,876	596	15,376

16 佐賀市久保田総合センター管理事業（2,630,000円）〔P.83〕

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
630	6,998	1,267	25,326	153	2,670	137	4,102	2,187	39,096

関連施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
60	368	43	1,390	103	1,758

IV. 在宅福祉サービス部門

1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（652,000円）〔P.75〕

在宅で生活する高齢者（所得制限有）及び身体障がい者（1級・2級）で、衛生管理が困難な者に対し、掛け布団、毛布及びシーツ等の寝具を丸洗い・消毒・乾燥等のサービスを年2回（9月・2月）無料で実施した。

※平成25年度からは佐賀市で実施

○第1回（9月） 88名

○第2回（2月） 84名

2 居宅介護支援事業（15,061,678円） 本所 川副

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

（1）居宅介護支援佐賀事業所（6,886,645円）〔P.97〕

○介護支援専門員体制 5名（常勤兼務3名、非常勤専従2名）

○要介護認定調査 40件

○ケアプラン管理者数 (単位：人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護（1～5）	598	49.8
要支援（1～2）	114	9.5

（2）居宅介護支援南部事業所（8,175,033円）〔P.102〕

○介護支援専門員体制 3名（常勤専従1名・常勤兼務1名・非常勤専従1名）

○要介護認定調査 44件

○ケアプラン管理者数 (単位：人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護（1～5）	930	77.5
要支援（1～2）	73	6.1

3 訪問介護事業（10,648,426 円）〔P. 103〕 川副

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣した。

サービス提供件数 (単位：件)

介護度	サービス提供件数	月平均
要介護（１～５）	延 2, 5 2 1	2 1 0. 1
要支援（１～２）	延 1, 2 3 8	1 0 3. 2

サービスの種類と件数 (単位：件)

種別	サービス提供件数	月平均
身体介護	延 6 3 4	5 2. 8
家事援助	延 2, 4 7 6	2 0 6. 3
複 合 型	延 6 4 9	5 4. 1

4 通所介護事業（59,357,951 円） 開成 大和

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

○利用料金 介護保険の適応相当分（個人負担：１割）、昼食費 4 0 0 円／回

○利用日時 月～金曜日（年末年始を除く。）

9：30～16：00（５時間以上７時間未満）

（１）開成デイサービスセンター事業（29,519,140 円）〔P. 98〕

○行事等 花見（彼岸花・コスモス・梅・桜）、初詣（祐徳稲荷神社）、誕生会、敬老会
季節行事（節分・桃の節句等）

○交流会 ボランティア団体、開成小、開成保育園 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 6	4, 6 3 0	1 8. 1

（２）デイサービスセンターさくら事業（29,838,811 円）〔P. 100〕

○行事等 レクリエーション、花見見学、ショッピング、誕生会 等

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 6	5, 0 6 9	1 9. 8

5 富士地区コミュニティバス実験運行（1,216,766 円）〔P. 79〕（富士地区高齢者憩いの家事業）

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

○対象者 65歳以上の高齢者で、介助なしで行動ができる者

○利用料金 1 0 0 円／片道

○運行日時 3回／週（火、水、木曜日）10：00～15：00

○事業内容

- ・マイクロバスによる利用者の送迎
- ・地域間交流
- ・温泉入浴サービスの提供

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
1 2 0	1, 6 9 7	1 4. 1

6 佐賀市生活サポート事業 [P. 76]

障害程度区分認定において非該当と認定された障がい者に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の支援を行う。(佐賀市委託)

※平成25年度からは委託なし

○利用者実績 なし

7 身体障がい者居宅介護支援事業 (235,948 円) [P. 105] 川副

在宅で生活を営む身体障がい者手帳(重度)の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

○対象世帯 1 世帯

○支援回数 延103回(月平均 8.6回)

8 外出支援事業 (1,710,550 円)

(1) 佐賀市移送サービス事業 (812,094 円) [P. 57] 【共募配分】

既存の交通機関による移動が困難な在宅の高齢者や身体障がい者(移動制限者)に運転ボランティアの協力を得て、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを行った。

	利用登録者	運転ボランティア登録者	利用者数 (延)	内 訳 (複数利用あり)		
				医療機関	公共機関	社会参加
本所	21	7	259	254	33	79
大和支所	5	3	20	22	0	0
富士支所	15	11	19	19	0	0
川副支所	2	2	27	27	0	0
合計	43	23	325	322	33	79

(2) ガイドヘルパー事業(同行援護、移動支援) (898,456 円) [P. 104]

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

○登録ヘルパー 5 人

同行援護(障害者自立支援法による通院及び外出介助)

利用者数	派遣回数	派遣時間
9	363	666.0

移動支援(佐賀市移動支援事業)

利用者数	派遣回数	派遣時間
2	2	9.5

9 その他の事業

①ごみカレンダー点字版の配布

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方(26名)に配布した。

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

（１）赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、１０月１日から１２月３１日までの３ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。
(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	11,965,904	1,007,170	1,959,370	431,200	149,100	1,399,125	802,200	718,200	18,432,269
街頭募金	143,475	0	15,048	0	26,546	0	0	0	185,069
法人募金	1,984,221	755,000	158,000	387,000	93,386	472,000	222,939	255,000	4,327,546
学校募金	296,223	0	2,056	26,343	0	21,458	16,927	20,515	383,522
職域（資材）	1,380,950	246,300	272,050	172,800	62,750	81,900	113,400	169,550	2,499,700
職域・その他	215,805	20,352	6,219	116,124	67,169	11,928	51,101	10,889	499,587
合 計	15,986,578	2,028,822	2,412,743	1,133,467	398,951	1,986,411	1,206,567	1,174,154	26,327,693

（２）歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、１２月１日から１２月３１日までの１ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	5,021,526	292,520	570,520	123,200	42,600	401,050	229,200	208,800	6,889,416
その他	107,536	2	20,222	0	0	0	0	37,025	164,785
合 計	5,129,062	292,522	590,742	123,200	42,600	401,050	229,200	245,825	7,054,201

（３）災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

◎東日本大震災（４月～３月）１７５，９０２円（３月３１日現在）

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。
(単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	13,390,428	1,399,600	2,863,900	616,000	213,000	2,073,125	1,152,000	1,012,500	22,720,553

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 1,000人赤十字救急法実践講習会

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、県内1,000人赤十字救急法実践講習会を開催し、赤十字事業に対する理解度の向上に努めた。

- 開催日 平成24年5月16日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 67人

② 講習への講師（指導員）派遣

救急法：2ヶ所、幼児安全法：3ヶ所、防災講習：1ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

○助成金交付 1校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎東日本大震災 (4月～3月) 780,958円 (3月31日現在)
- ◎北部九州大雨災害義援金 (7月～9月) 178,656円 (3月31日現在)

(参考) 東日本大震災災害義援金取り扱い状況 (単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
共同募金会へ	2,690,743	7,327,468	175,902	10,194,113
日本赤十字社へ	3,963,156	21,031,191	780,958	25,775,305
合計	6,653,899	28,358,659	956,860	35,969,418

(4) 火事等の罹災世帯への援助（事業報告書30ページ (1) 小災害罹災世帯に対する見舞 参照）

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生の向上を図る。